

令和4年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【2年目】

P T A名	静岡県立藤枝特別支援学校 P T A	
学 校	対 象	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input checked="" type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
	設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
	全校児童・生徒数	339人

1. 使用状況

寄贈物品名	電子黒板機能付きデジタルテレビ・スタンド
使用学年及び人数	小学部 中学部 高等部 全児童生徒 339人
使用頻度	ほぼ毎日
使用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・多人数や広い場所(体育館等)での授業の際に、提示したいイラストや動画を画面に映して活用した。 ・生活単元学習で使用した。電子黒板の画面上にイラストを2枚から3枚程度提示し、イラスト上に児童がタッチペンで丸を付けて正しい答えを選ぶようにして使用した。電子黒板上に表示されている画面は、iPadのアプリ『ロイロノート』を使って画面を共有しておき、電子黒板から離れたところにいる児童にはiPadで提示し、手元で同じ画面を確認できるようにした。また、教師が学習内を説明する際、タッチペンを使って電子黒板上にイラストを描いたり、補足事項を書き込むようにして使用した。
物品の使用による 変化や効果 ※1年目との違いを含めご記入ください。	<ul style="list-style-type: none"> ・1年目は、多人数での授業で、モニターとして活用することが多かった。児童が画面を注視し続けることができ、学習に取り組む意欲が向上するという効果があった。今年度は、電子黒板に自身の動きを動画で映し出して確認したり、どこが良かったのかを、直接書き込んだりすることにも取り組み、更に学習内容の理解が深まった。 ・1年目からタッチペンを使って画面上に書く活動は行っていたが、今年度は、タッチペンの色の濃さや太さを予め設定しておくことで、筆圧が弱い児童であっても画面上に太く濃く書くことができ、自信をもって活動に参加できるようになった。また、教師がタッチペンを使って補足事項を書き込む際には、電子黒板の機能を使って色分けして書くことができるため、情報が整理されて児童の積極的な発言が増えた。
今後の活用の見通しや課題	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への主体的な姿は、期待通り多く見られており、友達の意見を聞いて、自分の意見を発信する児童が増えてきている。児童生徒が自分で操作する場面も少しずつ増えてきており、今後は小学部の段階でも、自身で検索をしたり、検索した結果をまとめたりする場面を増やしていけると良い。
その他 希望や所感など	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板を使った新たな機能ができた際に、以前、寄贈していただいた電子黒板のアップデートが簡単にできるとより効果的な活用につながると考える。

2. 活用の様子



【小学部知的高学年】

上のようなイラストを提示し、タッチペンを使って児童が丸を付けて選択した。



【中学部知的】

競技のポイントやチーム分け、生徒自身の動画や写真を映すことで、理解がしやすくなったり、振り返りがしやすくなったりした。